

男女共同参画に関するアンケート結果【資料5】

問1 性別を教えてください。		
1. 男性	171	39.0%
2. 女性	265	60.4%
3. その他	1	0.2%
	437	99.5%
問2 年齢を教えてください。		
1. 19歳以下	2	0.5%
2. 20代	52	11.8%
3. 30代	91	20.7%
4. 40代	128	29.2%
5. 50代	121	27.6%
6. 60代	35	8.0%
7. 70歳以上	8	1.8%
	437	100.0%
問3 職業について教えてください。		
1. 会社員（正規雇用）	108	24.7%
2. 会社員（契約・派遣社員）	47	10.8%
3. 公務員	201	46.0%
4. 自営業	14	3.2%
5. 会社役員	8	1.8%
6. 自由業	1	0.2%
7. 専業主婦・主夫	14	3.2%
8. 学生	2	0.5%
9. パート・アルバイト	33	7.6%
10. 無職	9	2.1%
	437	100.0%
問4 結婚していますか。		
1. 既婚	283	64.8%
2. 未婚	105	24.0%
3. 離婚または死別	46	10.5%
4. 事実婚	3	0.7%
	437	100.0%
問5 家族構成を教えてください。		
1. 一人暮らし	53	12.1%
2. 夫婦のみ	65	14.9%
3. 親と子（2世代）	239	54.7%
4. 親と子と祖父母（3世代）	56	12.8%
5. その他	24	5.5%
	437	100.0%
問6 現在、①～⑧の分野で男女平等になっていると思いますか。それぞれあてはまる番号を1つ選んでください。		
①社会全体で		
1. 男性の方が優遇されている	100	22.9%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	236	54.0%
3. 平等	62	14.2%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	19	4.3%
5. 女性の方が優遇されている	9	2.1%
6. わからない	11	2.5%
	437	100.0%
②家庭内で		
1. 男性の方が優遇されている	52	11.9%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	159	36.4%
3. 平等	163	37.3%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	28	6.4%
5. 女性の方が優遇されている	19	4.3%
6. わからない	16	3.7%
	437	100.0%

③職場内で		
1. 男性の方が優遇されている	56	12.8%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	154	35.2%
3. 平等	170	38.9%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	38	8.7%
5. 女性の方が優遇されている	5	1.1%
6. わからない	14	3.2%
	437	100.0%
④学校教育の場で		
1. 男性の方が優遇されている	16	3.7%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	86	19.7%
3. 平等	272	62.2%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	12	2.7%
5. 女性の方が優遇されている	3	0.7%
6. わからない	48	11.0%
	437	100.0%
⑤政治の場で		
1. 男性の方が優遇されている	208	47.6%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	161	36.8%
3. 平等	50	11.4%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	6	1.4%
5. 女性の方が優遇されている	1	0.2%
6. わからない	11	2.5%
	437	100.0%
⑥法律や制度の上で		
1. 男性の方が優遇されている	95	21.7%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	145	33.2%
3. 平等	143	32.7%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	23	5.3%
5. 女性の方が優遇されている	6	1.4%
6. わからない	25	5.7%
	437	100.0%
⑦社会通念・慣習で（風潮・しきたり等）		
1. 男性の方が優遇されている	167	38.2%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	200	45.8%
3. 平等	52	11.9%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	2.5%
5. 女性の方が優遇されている	2	0.5%
6. わからない	5	1.1%
	437	100.0%
⑧地域活動の場で（自治会・PTA・ボランティア等）		
1. 男性の方が優遇されている	78	17.8%
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	154	35.2%
3. 平等	151	34.6%
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	4.6%
5. 女性の方が優遇されている	7	1.6%
6. わからない	27	6.2%
	437	100.0%
問7 あなたは家事をどの程度していますか。①～⑩について、それぞれあてはまる番号を1つ選んでください。		
①日常の家計管理		
1. している	214	49.0%
2. どちらかといえばしている	100	22.9%
3. どちらかといえばしていない	49	11.2%
4. していない	67	15.3%
5. 該当なし	7	1.6%
	437	100.0%

②食事のしたく		
1. している	239	54.7%
2. どちらかといえばしている	77	17.6%
3. どちらかといえばしていない	64	14.6%
4. していない	53	12.1%
5. 該当なし	4	0.9%
	437	100.0%
③食事の後片づけ		
1. している	250	57.2%
2. どちらかといえばしている	106	24.3%
3. どちらかといえばしていない	45	10.3%
4. していない	31	7.1%
5. 該当なし	5	1.1%
	437	100.0%
④食料品や日用品の買い物		
1. している	266	60.9%
2. どちらかといえばしている	98	22.4%
3. どちらかといえばしていない	49	11.2%
4. していない	21	4.8%
5. 該当なし	3	0.7%
	437	100.0%
⑤掃除		
1. している	227	51.9%
2. どちらかといえばしている	126	28.8%
3. どちらかといえばしていない	56	12.8%
4. していない	22	5.0%
5. 該当なし	6	1.4%
	437	100.0%
⑥風呂・トイレ掃除		
1. している	225	51.5%
2. どちらかといえばしている	110	25.2%
3. どちらかといえばしていない	73	16.7%
4. していない	25	5.7%
5. 該当なし	4	0.9%
	437	100.0%
⑦洗濯		
1. している	242	55.4%
2. どちらかといえばしている	87	19.9%
3. どちらかといえばしていない	49	11.2%
4. していない	54	12.4%
5. 該当なし	5	1.1%
	437	100.0%
⑧ごみ出し		
1. している	214	49.0%
2. どちらかといえばしている	92	21.1%
3. どちらかといえばしていない	72	16.5%
4. していない	54	12.4%
5. 該当なし	5	1.1%
	437	100.0%
⑨子どもや孫の世話		
1. している	157	35.9%
2. どちらかといえばしている	88	20.1%
3. どちらかといえばしていない	33	7.6%
4. していない	56	12.8%
5. 該当なし	103	23.6%
	437	100.0%

⑩介護		
1. している	42	9.6%
2. どちらかといえばしている	38	8.7%
3. どちらかといえばしていない	34	7.8%
4. していない	128	29.3%
5. 該当なし	195	44.6%
		437 100.0%
問8 男性が家事・育児・介護に積極的に参加するには何が必要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。		
1. 男性の家事・育児参加に対する男性自身の抵抗感をなくす	211	17.8%
2. 男性の家事・育児参加に対する女性の抵抗感をなくす	66	5.6%
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る	210	17.7%
4. 周りの人が夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する	87	7.3%
5. 家事・育児・介護についての社会的評価を高める	150	12.7%
6. 男性の家事・育児について職場の上司や周囲の理解を進める	238	20.1%
7. 多様な働き方の普及により余暇の時間を増やす	139	11.7%
8. 男性の家事・育児について啓発や相談窓口の設置、研修を行う	35	3.0%
9. 男性が家事・育児を行うための仲間ネットワークづくりを進める	28	2.4%
10. 特に必要なことはない	11	0.9%
11. わからない	10	0.8%
		1185 100.0%
問9 男女がともに活躍できる職場にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 育児や介護など家庭と両立ができる職場の支援制度	355	30.6%
2. 時差通勤や在宅勤務など柔軟な働き方ができる環境づくり	303	26.1%
3. 職場内のコミュニケーション	242	20.9%
4. 男女ともにキャリアアップを目指せる環境づくり	250	21.6%
5. わからない	9	0.8%
		1159 100.0%
問10【働いた経験のある方にお聞きます】職場に女性の管理職の方がいましたか。あてはまる番号を1つ選んでください。		
1. いる（いた）	367	85.3%
2. いない（いなかった）	54	12.6%
3. わからない	9	2.1%
		430 100.0%
問11（1）【働いた経験のある女性にお聞きます】管理職になることについて、どう思いますか。あてはまる番号を1つ選んでください。		
1. なりたい	56	20.3%
2. なりたくない	158	57.2%
3. わからない	62	22.5%
		276 100.0%
問11（2）【（1）で「2. なりたくない」を選んだ方にお聞きます】それは、どのような理由からですか。あてはまる番号を1つ選んでください。		
1. 責任が重くなるのが嫌だから	47	28.8%
2. 残業時間が増えそうだから	20	12.3%
3. 自分の能力に自信がないから	43	26.4%
4. 仕事と家庭の両立が困難だから	43	26.4%
5. 職場に女性管理職を受け入れる環境が整っていないから	6	3.7%
6. 職場に女性の管理職が少ない、またはいないから	4	2.5%
		163 100.0%
問12（1）地域活動・社会活動の参加について、あなたが参加しているものを教えてください。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 子ども会・PTA	99	17.4%
2. 自治会・防災防犯	167	29.3%
3. 老人会・婦人会	8	1.4%
4. 社会奉仕・福祉	48	8.4%
5. 消費生活・環境保護	20	3.5%
6. 地域のまちづくり	41	7.2%
7. 参加していない	187	32.8%
		570 100.0%

問12 (2) 【(1)で「7.参加していない」を選んだ方にお聞きします】地域活動・社会活動へ参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 子どもの世話や老人の介護	23	8.2%
2. 仕事が忙しい	103	36.8%
3. 配偶者や家族の理解がない	4	1.4%
4. 人間関係がわずらわしい	56	20.0%
5. 自分の性格に合わない	33	11.8%
6. 活動する仲間がいない	38	13.6%
7. 役員や世話人にされそうだから	23	8.2%
	280	100.0%
問13 現在、自治会など地域団体における長の女性の割合が低い状況にあります。今後、女性の視点を地域に取り入れるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 男性中心の組織運営や慣習・しきたりを見直すための意識啓発を図る	246	35.9%
2. 女性自身が積極的に地域活動に参画する意識を持つ	147	21.4%
3. 家族が協力して家事などを分担して女性が参加しやすいようにする	219	31.9%
4. 女性は積極的に地域活動に参加する必要がない	24	3.5%
5. わからない	50	7.3%
	686	100.0%
問14 災害時に男女共同参画の視点を取り入れた避難所とするには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 男女別のトイレや更衣室など、プライバシーの確保	382	32.0%
2. 男女のニーズに配慮した物資を備蓄する	321	26.9%
3. 避難所の運営に男女双方の意見を反映させる	304	25.5%
4. 日頃から男女ともに地域でのコミュニケーションを大切にする	178	14.9%
5. わからない	8	0.7%
	1193	100.0%
問15 DVを受けたことがありますか。あてはまる番号を1つを選んでください。		
1. 受けたことがある	49	11.2%
2. 受けたことがない	388	88.8%
	437	100.0%
問16 周りにDVを受けた人がいますか。あてはまる番号を1つを選んでください。		
1. 周りにいる	90	20.6%
2. 周りにいない	183	41.9%
3. わからない	164	37.5%
	437	100.0%
問17 DVの相談窓口を知っていますか。あてはまる番号を1つを選んでください。		
1. 知っている	225	51.5%
2. 知らない	212	48.5%
	437	100.0%
問18 配偶者やパートナーからのDVをなくしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. DV防止について啓発の機会を増やす	181	16.3%
2. 学校で暴力をなくしていくための教育を行う	226	20.4%
3. 加害者への処罰の強化や更生のための教育を行う	260	23.5%
4. 男女間の経済的な格差をなくしていく	205	18.5%
5. 相談機関の周知及び体制強化	212	19.1%
6. わからない	24	2.2%
	1108	100.0%
問19 現在、性的指向や性自認に悩む方にとって偏見や差別により生活しづらい社会だと思いますか。あてはまる番号を1つを選んでください。		
1. 思う	139	31.8%
2. どちらかといえば思う	197	45.1%
3. どちらかといえば思わない	38	8.7%
4. 思わない	20	4.6%
5. わからない	43	9.8%
	437	100.0%

問20 性的指向や性自認に悩む方が生活しやすくしていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 学校や職場での配慮（制服や更衣室・トイレの配慮など）	325	29.4%
2. 専門の相談窓口の設置	218	19.7%
3. 市の広報紙やホームページ、講演会、講座などによる啓発	148	13.4%
4. 申請書等の性別記載欄の削除	160	14.5%
5. パートナーシップ宣誓制度の導入	197	17.8%
6. 取り組みが必要とは思わない	22	2.0%
7. わからない	37	3.3%
	1107	100.0%
問21 男女共同参画社会を推進していくために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまる番号すべてを選んでください。		
1. 女性を各種委員や管理職などに積極的に登用する	200	10.8%
2. 企業などにおいて男女がともに活躍できる環境となるよう啓発を進める	244	13.2%
3. 育児・介護のための施設やサービスなどを充実させる	277	15.0%
4. 子育てや介護などで仕事をやめた方への再就職を支援する	249	13.5%
5. ワーク・ライフ・バランスが取れるよう残業時間の削減や在宅勤務の普及啓発を進める	271	14.6%
6. 男性の育児・介護休業取得や家事・育児・介護への参画を促進する	262	14.2%
7. 学校教育や社会教育の場で男女の相互理解や協力についての学習を充実させる	217	11.7%
8. 地域において男女とも積極的に地域活動に参画するよう啓発を進める	115	6.2%
9. わからない	16	0.9%
	1851	100.0%
問22 男女共同参画についてご意見などがあれば、ご記入ください。		
なし		
言われるまま欧米に倣えという姿勢や、男女の性差を無視して数値だけを満たそうとする男女平等の強行は不満を増やすばかりで良い結果にはならないと思う。		
女性が言うのもなんだが、ヒステリックだったり情緒不安定になりやすいのは女性だし、やっぱり妊娠出産するのも女性なんだから今まで通りでいいと思う。無理に男女平等にするのは難しい。		
パートナーシップ制度是非とも導入してほしい		
人生にゴールはない。相手の立場を尊重し誰もが動くべき。		
風習が根付いてると思う 根本から変えないといけない		
誰もが生きやすい社会になることを目指したいと思います。		
力仕事を男に任せるのに他の仕事を男と女で平等に分けている時点で不平等 男女でそれぞれ得意なことをして行けばいいと思うから男女共同参画は自治体や政府、行政などで進めていく必要はない		
地方エリア（田舎なので）いまだに男尊女卑思考が強い。女性はお茶入れてとか、子供を早期に保育園にいらてかわいそうなど…女とはこうあるべき、男とはこうあるべきなど、慣習が根強い。		
男性のほうがが身体能力的に重い者は男性がなどの配慮も、もはやいらないのでは？ できる人ができるときにという意識が必要。		
身近な家族間での格差から無くしていかないことには、根本的な解決になるとは思えない。新聞等で情報は知っていても、当人たちは自分のことと認識していない。		
フルタイムでの共働きの育児には限界があります。何でも男女の働き方を平等にするのではなく、その人に合った働き方を選べるようにできる社会が良いと思います。 北欧では、管理職の女性で育児中の方はフルタイムの3/4の働き方もあるようです。		
男女だけを取り上げるのではなく、多様性を広く認める計画にすべき		
根強い性役割についての考えが変わることが大切だと思う。性役割について考え方が変わっても、育児、家事時間が変わらない日本の現状への対応は難しい。政治や管理省等に女性が起用されるだけでは、現状は変わらないと思う。		
各性別の年齢分布の比率において高齢者が占める割合が多いうちは、慣例や慣習によって男女共同参画が難しいのではないかなと思う。 また、女性の立場向上に重きをおき続けることは、ある時点で逆差別の様なことも起こりかねないと思う。即効性のある施策を取ろうとすると既存の考え方に慣れている私たちは拒絶反応を示すこともあると思うので、このようなアンケートや各種機会を地道な啓蒙活動が大切だと思う。		

同上。問21その他で述べたと同様意見
まずは収入格差の是正措置から取り組んでいただきたい。 自立するにも時間を確保するにも、とにかくお金が無ければ何も出来ない。 子育て世代だけでなく、介護世代もお金や時間に困っている。 他の県や市に比べると、木更津市は率先して市民の為に給付をするという策を取っていない。 男がーとか女がーとかいう話よりも、格差の無い家庭を目指すべきではないか？ 全市民に一律給付を下さい！
働く人の意識改革が必要と思いますが、簡単には変わらないと実感します。ただ、何もしないといつまでも変わらないと思います。問21-1にあるように公的機関が率先し、トップダウンで管理職に多くの女性を起用していただき、そこで発生する仕事と家庭に関わる課題抽出と解決案を考えることを通じて、具体的にどうすれば良いかを考える人が増えることから変わっていくと良いと思います。また、こうした活動を多くの人に見てもらおう機会とし、少しずつ浸透していくことも期待できると思います。本当に難しいことだとは思いますが、次の世代のためにも少しずつ変わっていく必要があると思います。
支援してもらいたい内容がそれぞれちがうから、夫婦、パートナーで話し合い、必要と思うことを利用できる、フレキシブルな制度があると良い
女性でも活躍している人は活躍しているし、昔ほど男女差は無くなっていると思います。むしろ一部の「女性差別だ！」がおかしくしている面もあるかと思います
どのような活動をしているのかわからない。
介護や育児が理由でフルタイムの仕事に復帰できない女性が多いと思うので、男性も介護・育児休暇が取れるようにする、社会的なサービスを充実させることが必要だと思います。
男女という考え方も必要ではあると思うが、どちらかと言えば1人の人間として相手とどのように関わりが持っていくのかということ指導していくことが大切なのではないかと思っています
特にありません。
男には男、女には女の役割があると思います。
それが本当に必要な事なのかが分からない 単純な分業じゃダメなんですかね 体力的に向き不向きが性により分けやすいと自分は思っています。 一部の人のために大勢が犠牲になり効率が悪くなる方へ進んでいるのが理解できません。 老害でごめんなさい…
仕事をしたくてもできない女性が沢山居ます。子供産んだのがきっかけで車の免許が無い方も沢山居ます。場所によっては、電車も中々なかったり。1番思うのが、木更津市は、指定のゴミ袋が高すぎます！どこの市よりも高い。そして破れやすい。金額にしろ、だったらもう少し枚数つけてくれてもいいんじゃないのかなとも思ってます
これまでの推進活動が少しずつ浸透しています。より一層の啓発・推進活動を期待しております。
そもそも、企業が雇用の選択の幅を持てるだけの体力が無ければ机上の空論だと思います。その体力が無い状態で規制を増やせば逆に男女共同参画は実現しない（例：最初から女性を雇わないor倒産）。なので、木更津市に出来ることはありません。国に頑張ってもらいましょう。
男性の自殺率は女性の3倍。 こういう取り組みも基本女性側に焦点を当てた物ばかりで、真に苦しんでいる男性に対する冷たさは何とかならないのだろうか？ なぜ男女平等ではなく共同参画などというおかしな文言なのだろう？ 北欧などの「男女平等社会」をみると女性は一切の優遇なく、まさに同列の扱いを受ける。 力仕事も汚れ仕事も危険な仕事もお構いなしだ。 そういう社会を目指すのが真の男女平等だ。 でもそれは嫌だからフワッとした共同参画などという概念を持ち出したのだろう。 そうしてまた男性が社会に苦しめられる。 昔ながらの社会で何が悪いのだろう？ 良い加減にして欲しい。
地方で出た意見を、国が必ず実行出来る法律が出来て欲しい。
もっと大らかな気持ちで接する方々が増えていけば良いと思います。そのためにはある程度時間がかかると思います。
男性女性にかかわらず個人がそれぞれ得意な分野で輝ければ良いと思う。管理職になりたくない女性もいるし、家事育児が苦手な男性もいる。またその逆も。平等という名の下で敢えて男女を一緒に土俵にしなくても良い。
できることから積極的に進める
性が多様化している中で、男女共同参画という言葉自体がナンセンスな気がしています。男性だから、女性だからということではなく、1人の人間として、お互いが認め合えるような（生きづらさを感じないような）施策を木更津市が推進してくれることを切に願っています。

地域社会貢献に関しては、現在活躍できる時間のある60-80代世代は専業主婦が多かった時代背景から、男性を差し置いて積極的な女性登用というのは難しいと思います。 市で市民から委員を立てるような会議等においては、男女比が1:1になるようにしていくことは有用ではないかと思います。 専業主婦時代から共働き時代への変革にあたり、女性の長というロールモデルが限りなく低い中(あっても事務の一部門の係長や課長くらいなどで意思決定権のある立場は少ない)、職場においては機会の均等はもちろん、立場がその人を作っていく、相乗的に周りも変化していくことを鑑み、まずは有望な女性を積極的に長に登用してみることも一手かと思っています。それによって、後に続く女性が出てきたり、周りの男性の意識が変わっていったりという相乗効果が生まれると思います。ただ、一昔前のようにがむしゃらに働かなければ長になれないということではなく、仕事と家庭の両立をできる体制を併せて整えることは、性別を問わず社会にとって有用なことと考えます。
男女相互理解と尊重を重視して男女相互扶援助をする
日本の土壌は男女共同参画についてはまだまだですが先進国の政策など参考に啓発活動を継続していったほしいと思います。
これから策定される第5次計画は、行政資料らしく行政マンだけが満足する計画にならないものと拝見しました。誰が見ても完結明瞭でわかりやすく、今の時代に合った計画ができることを期待しています。
男女共に余裕のある生活のための経済成長が必要。
どうしても性差はあり、力仕事ができる出来ない、出産等キャリアに空白ができるなど完全な平等は不可能だと思う。
女性だから優遇、子育て中だから優遇といった上部の共同参画ではなく例えば独身で男性、体力的に辛いが頑張って働く壮年期の方などバツと見ただけでは強者に見えかねない方も含めた生きやすい平等さをかंगाえてほしいと思う。
性別問わず男女ともに人としての人間性を磨き、女性も責任をもって社会で自立できる力をつけることが大切だと思う。
男が一家の代表みたいな風習やめてほしい
社会の構造が男性が作ったものなので、現状が男性が生きやすい社会であるのは当然だと思う。女性は男性にないライフイベントがあり、妊娠出産では守られるべきだと思う。しかし、育児や介護については体力がある男性がもっと関わった方がより皆の幸せになると思う。人間が生きるための部分にもっとお金を投資するべきだと思うし、現在の木更津市はもっともっと箱物ではなく人にお金を使ってほしい。
若い世代は男女間の不平等をあまり感じていない。一方で社会では話題にされており、男女平等という考え方がいかなものかと考える。男女平等と唱える人こそが、男女不平等の問題を大きくしていると思う。
男女共同・平等と言ったところで育児も平等になるのか？そうならない家庭が多い。夫婦共に仕事に地位や名誉を求めて、十分な子育てが出来るのか？目を配れるのか？と疑問が残る。大切な事はいつの時代も、次世代をしっかりと育成する事。今の日本の現状女性が家庭を守る的な思考が根強い。だとしたら、子育てが一段落した時に再び就労できる環境づくりが大切だと思う。年齢制限はダブーと言うが、結局は再就職は40歳以下の暗黙の了解は変わっていない。その辺の考え方を社会全体が変われば良いと常に思う。
伝統や文化を破壊するような何でもかんでも同等にする必要はないと思います
男女共同参画のために女性の管理職を増やすことや、女性の委員を増やすことは違うように感じる。そんなことよりも、もっと身近なことに目を向けるべきでは。
肉体労働だけを男性にやらせているのは平等ですか。
日本的に男女平等までは無理かと思っています。言葉では平等のようだが、現実には難しい。日本人全体の意識が欧米の良い点を理解して、採り入れる意識改革が必要です。
男女共同参画と命題打ってる時点で、格差があると自他ともに認めてる社会。生きにくいと感じる社会を、どう生き生きできるように、進めていくか？期待します。
男女共同参画には大いに賛同できるが、一般的に男女は生理的、身体的に根本的な違いがあるので、各々の特徴、特性を考慮することも必要であると思います。
女性の積極的採用で逆差別のような現象も起こってはいますが、杓子定規に公平にこだわるのではなく、冷静にある程度の差を受け入れつつ改善を進めることも重要だと思います。
女性の結婚年齢が男性と同年齢に引き上げられましたが日本はまだまだ男性優先の土壌があります。少しずつではありますが啓発活動を推進されてきていることを感じています。先進国や先進県を参考に推進されてことを願っています。
男女共同と言っている時点で、性差別がまだまだあるんだなと思います。

市の推進事業を市内の企業等と協力して推進することで広く認知されていくのではないのでしょうか。東京等と違って地元の企業に一定の認知度があるのが木更津の良い所でもあると思います。

日本の制度や法律は子育て世代に給付金ばかりに目が向きがちです。そうではなく、なかなか他人に話すのが難しいと感じている人にも、これから出会いを求めて共通感のある友達を増やしたいと思っている人達にも経済的な出会える給付金の様な支援が必要だと思います。就職してからコロナ禍もそうですが、コロナ流行以前から、同年代同士の出会いがあまりない為、お出かけもありません。例えば、20代同士、30代同士といったような、同年代との出会いや交流を増やせるように未婚者限定で木更津市でもインターネットのSNS等で料理するのが好きな仲間、ディズニーのテーマパークに一緒に行ける仲間、写真を撮るのが好きな仲間、旅行するのが好きな仲間といった趣味の繋がりを大切にしたいと思う人が無料で参加して出会えて一緒に参加お出かけでき、参加するといったいいメリットがあるイベントを開いて欲しいと思います。

男女が同じことをすると言うのではなく適材適所で、望めば参加できる環境を整えることが必要だと思います。

男性の育児休業取得率を上げる取り組みが必要だと思います。市としてできるのは、まず自分達の職場の育児休業取得率を上げることからかなと思います。

わからない。騒ぎすぎ！

派遣社員などの不正規雇用と、正規雇用の福利厚生との格差（例えば派遣社員だと復帰できる産休ではなくて退職になる）を是正しないと、男女同様の行動が出来ないと感じます

子育てしながら女性が働ける制度はとても充実してきたと思います。ただ、出産後に職場復帰した後、そのような制度を活用するのは主に女性で、そのため、女性は職場に復帰しても子育てしながらキャリアアップを目指すことは非常に難しいと感じます。（マミートラック）（具体的には、子育て中で時短勤務を行っている女性は残業等ができないため、簡単な業務の部署等に配置換えになることが多く、やりがいを感じられなくなる。等）一方、男性側の制度や意識も変わってきたことは確かですが、結局、男性は子供が生まれた後も、時短制度等を使ったりすることは少なく、残業や出張も子供ができる前と同じように求められ、働き方が変わることはあまりありません。

私自身は、夫も非常に協力的で恵まれた環境でしたが、それでも、子育て中は、自分はキャリアアップを我慢しなければならず、非常に不公平感を感じていました。（上司にも、「キャリアは子育てが終わったら、また考えたらいい」と言われました。）

女性に対する様々な制度は充実してきましたが、大切なのは、女性も男性も同じように制度を活用し、同じような働き方を行うことだと思います。

また、学校教育では、LGBTの教育を積極的に進めて、大切なのは、男らしく、女らしくではなく「自分らしく」であることを子どもたちに伝えて、どんな自分でも自分らしくあることを伝えてほしいです。そのためには、行政が進んで主導していただきたいです。